

天皇陛下御即位をお祝いする国民祭典

しばた台輪参加 記念誌

しばた台輪

令和の

幕開けに

舞



天皇陛下御即位奉祝行事参加新発田市実行委員会

目次

❁ がいさつ

天皇陛下御即位奉祝行事参加新発田市実行委員会

会長 新発田市長 二階堂 馨

1

天皇陛下御即位奉祝行事参加新発田市実行委員会

実行委員長 新発田商工会議所会頭 佐藤 哲也

1

天皇陛下御即位奉祝行事参加新発田市実行委員会

副実行委員長 台輪連絡協議会会長 佐久間 大輔

2

❁ 天皇陛下御即位をお祝いする国民祭典実施概要

第一部「奉祝まつり」プログラム

3

第二部「祝賀式典」プログラム

3

会場概要図

4

第一部「奉祝まつり祝賀パレード」出演団体

4

第二部「祝賀式典」参加者

4

❁ 記録写真

積込み

5

出発式

6

組立て

7

パレード出発準備

8

いざ出陣

9

撤収・積込み・その他

11

他の出演団体

15

第二部「祝賀式典」

16

❁ 集合写真

城下町新発田会・実行委員会

17

泉町泉組

18

両町

19

三之町い組

20

四之町し組

21

上町一番組

22

下町わ組

23

❁ 事業の経過・参加行程表

❁ 実行委員会名簿

24

❁ ご協賛団体

25



「あいつつ」

天皇陛下御即位奉祝行事参加

新発田市実行委員会

会長 新発田市長 二階堂 馨

天皇陛下御即位をお祝いする国民祭典しばた台輪参加記念誌の刊行に際しまして
ごあいさつ申し上げます。

天皇陛下御即位を全国民あげてお祝いする国民祭典に、新発田の華「しばた台輪」
の参加依頼をいただいたのは、城下町新発田まつりの興奮さめやらない九月のこと
でした。

「しばた台輪」は平成時代、平成二年の御即位、平成十一年の御即位十年、平成
二十一年の御即位二十年をお祝いする国民祭典に計三度、参加させていただきまし
た。そして、令和という時代の幕開けの国民祭典に、新発田の伝統である「しばた
台輪」が、全国の数ある伝統芸能の一つとして、新潟県内では唯一選ばれ、全国に
向けて「しばた台輪」と「新発田」を再び発信できる機会をいただいたことは大変
名誉なことであり、誇るべきものであります。参加にあたり台輪所有町内の皆様と
市議会より多大なご理解をいただきましたことに深く感謝申し上げます。

令和元年十一月九日、祭典日和のなか、三百六十名余りの曳き手・お囃子が木遣
りの合図のもとパレードを出発し、約六百メートルを休むことなく運行し、台輪の
勇壮な「あおり」は沿道を埋め尽くした観衆の心を魅了し盛大な拍手が響きわたり
ました。「あおり」の独特の光景を見た全国各地から参加された郷土芸能の参加者
からも絶賛をいただき、参加した十八団体のなかでも我が「しばた台輪」が一番盛
り上がったと自負しております。

当日は、新発田市議会議長をはじめ実行委員会委員の方々からもパレードにご参
加いただき、また、首都圏在住の当市出身者などで構成する郷人会の皆様から多く
のご来場とご声援を賜りました。二百九十年の歴史に積み重ねられた「新発田の心
意気」「新発田の魂」を存分に発揮することができたと思っております。

結びに、このような名誉な機会を与えていただいた天皇陛下御即位奉祝委員会並
びに新発田台輪の参加にご理解とご協力を賜りました、新発田市議会、台輪町内、
実行委員会の皆様、そして、多大なご協賛いただきました団体の皆様に感謝申し上
げますとともに、改めて天皇陛下の御即位をお祝い申し上げまして、記念誌刊
行のごあいさついたします。



「あいつつ」

天皇陛下御即位奉祝行事参加

新発田市実行委員会

実行委員長 新発田商工会議所会頭 佐藤 哲也

天皇陛下御即位奉祝行事しばた台輪参加記念誌の刊行にあたり、ごあいさつ申し
上げます。

「しばた台輪」が天皇陛下御即位をお祝いする国民祭典に、東京の奉祝委員会か
ら参加依頼を受けたと聞いたとき、十年前の興奮が蘇ってきました。私は十年前の
天皇陛下御即位二十年の国民祭典に光栄にも参加させていただきました、全国の名だたる
郷土芸能や神輿が皇居外苑をパレードするなかで、勇壮に「あおる」台輪の光景が
今でも鮮明に思い出されます。そして今回、令和という新しい時代の天皇陛下御即
位のお祝いにおいても、「しばた台輪」が参加できたことは、この上ない喜びであ
るとともに、大変名誉なことでありました。

しかし、一方で参加依頼からわずか約二ヶ月の短い準備期間のなかで、対応を檢
討していかなければならなかった、台輪連絡協議会や各町内の皆様のご苦勞は、並々
ならぬものであったと思います。また、曳き手などの皆様におかれましては、大勢
の参加をしていただき見事な「木遣り」と「あおり」を披露することができました。
改めて、参加された皆様に敬意を表したいと思います。

当日は雲一つない秋晴れのなかで、「しばた台輪」は、他のどの郷土芸能よりも
一番インパクトがあり、古く江戸時代（注1）から行われて来た「しばた台輪」独特
の「あおり」を目の当たりにし、沿道の観客はとても感動していたと思います。ま
さに全国に「しばた台輪」を、そして「新発田」を十分に発信できたと思っております。

今回の天皇陛下御即位奉祝パレードに参加しましたことは、「しばた台輪」を新
発田市の貴重な宝として、後世へ引き継ぎ、台輪の灯を消さぬようしっかりと守り育
てていくことを、我々の使命であることと考える機会を与えていただいたのではな
いかと思います。

最後に、天皇陛下御即位を改めて心からお祝い申し上げますとともに、新発田の
歴史の一ページに、ご一緒させていただく栄誉を授かったことに深く感謝申し上げ
るとともに、多大なご理解とご支援を賜りました新発田市、新発田市議会並びに台
輪連絡協議会、各町内の皆様に厚く御礼申し上げます、記念誌刊行のごあいさつとい
たします。

（注1）出典：阿賀北・岩船ふるさと大百科



台輪には若い世代が育っています。

天皇陛下御即位奉祝行事参加
新発田市実行委員会
副実行委員長 台輪連絡協議会会長 佐久間 大輔

門外不出と伝えられていた新発田台輪が初めて東京デビューしたのが平成二年に開催された御即位のお祝いでした。その後十周年、二十周年のお祝いに出演し、大変名譽なことに今回が四回目の出演となりました。

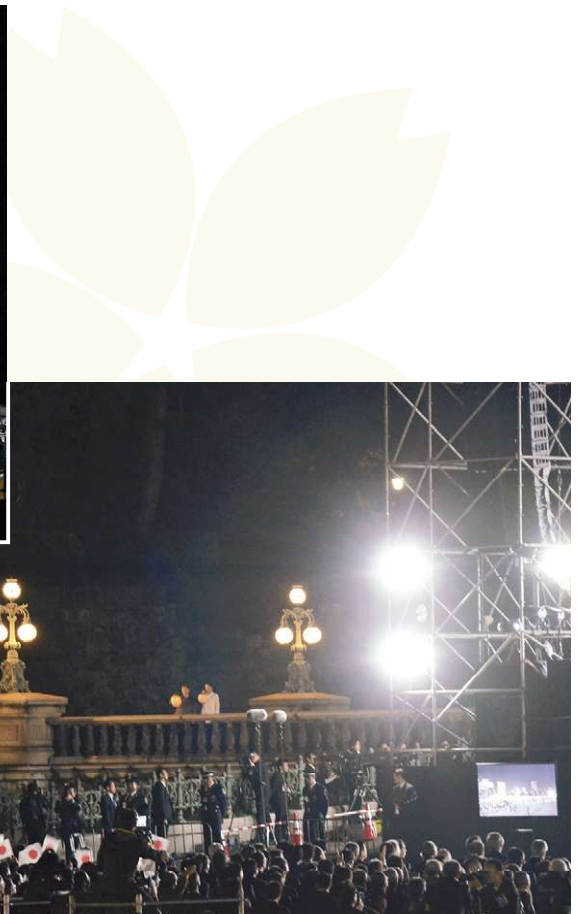
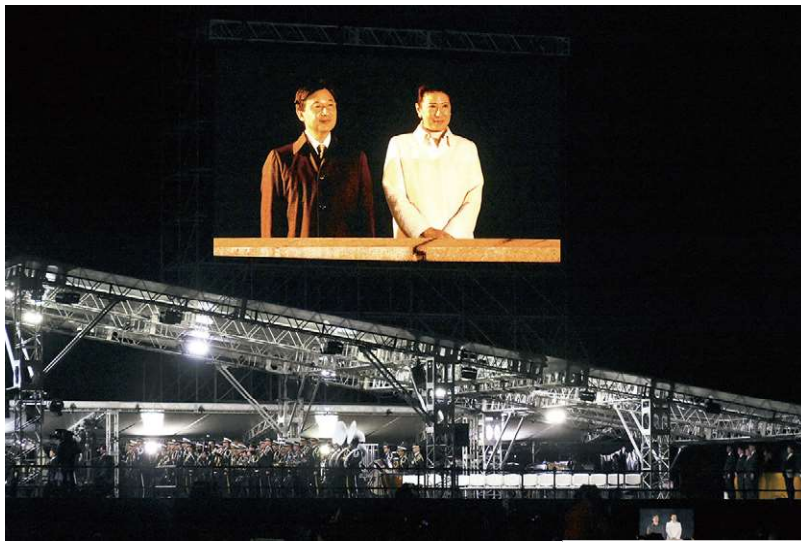
私自身は十年前に四之町の役員として準備に携わったのですが、全体の段取りに携わったのは初めての経験でした。当時を思い浮かべると、平成二年に中心になっていた三〇〇四〇代の役員はその時すでに五〇〇六〇代になっており、今回は六〇〇七〇代になっていました。新発田台輪は血気盛んな若者が主役だと思っても現実は、『まだまだ若い衆には任せられない』と張り切っている諸先輩と、これから台輪を背負ってゆく三〇〇四〇代が一緒になってやっと台輪を動かしているのだと改めて実感させられました。

今回、各町内から事前の現地確認には、運行責任者の頭取、解体・組み立て責任者の大工方も三〇年前と変わらぬ三〇〇四〇代の若手が参加してくれました。その場で当日の組み立てから運行方法・解体・積み込みの段取りまで話し合い、当日は彼らにすべて任せて無事運行することが出来ました。

令和元年十一月九日(土) 皇居前内堀通りは、天皇陛下の御即位をお祝いする国民祭典を国民全員が待ち望んでいたかのような青空に恵まれ、会場は日本中を代表するお祭りや伝統芸能が集まり、三万人を超える参加者と大勢の観客(見物人は二部と併せて六万人)の熱気に包まれました。

そんな中、木遣りを合図に皇居前交差点を出発した新発田台輪六台は、二重橋前交差点で皇居に向かってお祝いの木遣りと一斉あおりを披露することが出来ました。内堀通りでは、四〇〇m以上も六台揃ってあおりながら運行した台輪は、沿道の観客だけでなく、全国から集まったお祭り好きからも喝采を浴び、出演後の道中でもあおりをリクエストされる程でした。頭取達が考えた運行は大成功でした。

このような素晴らしい経験をさせて頂いた市民の皆様、時間が無い中ご尽力頂いた新発田市観光振興課のスタッフに心より感謝を申し上げます。二〇二〇年の夏祭りは東京オリンピックの興奮が冷めやらぬ中、パラリンピックの開催中となりますが、是非とも新発田祭りに足を運んで頂き、ライブでお囃子の三味線や笛太鼓の調べ、曳手のエネルギーや台輪のあおり、新発田の男を代表する頭取衆の木遣りを直に感じて頂ければ幸いです。



天皇陛下御即位をお祝いする国民祭典 実施概要

＊日時 令和元年11月9日(土曜日) 13:00～18:50

＊会場 皇居前広場、皇居外苑

＊内容 第1部「奉祝まつり」 13:00～15:45

祝賀パレード(出発セレモニー、郷土芸能、音楽隊)や都内と近隣の神社などの神輿・囃子

第2部「祝賀式典」 17:10～18:50

皇居前広場に3万人席を用意(7台の大型映像設備での観覧が中心)、外苑地区に6台の大型映像設備、日比谷野外音楽堂に1台の大型映像設備

＊主催 天皇陛下御即位奉祝国会議員連盟(伊吹文明会長)

天皇陛下御即位奉祝委員会(三村明夫会長)

公益財団法人日本文化興隆財団(田中恆清理事長)

＊後援 内閣府、総務省、法務省、外務省、財務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省、防衛相、東京都、千代田区

第1部「奉祝まつり」プログラム

(1) 祝賀パレードの部(内堀通り)

13:17 プロローグ演奏

13:25 出発セレモニー開会
開会宣言、主催者代表挨拶

13:45～
15:45 祝賀パレード

(2) 奉祝神輿渡御(鍛冶橋通り)

12:50 出発式

13:10～
15:45 奉祝神輿渡御

(3) 山車展示(内堀通り)

16:30～
18:45 山車展示

第2部「祝賀式典」プログラム

16:40 オープニング演奏
(陸海空自衛隊合同音楽隊)

17:00 オープニング 振れ太鼓

17:10 開会宣言
…古屋圭司・奉祝議員連盟幹事長
開会ファンファーレ

17:17 各界からの御即位のお祝いメッセージ

17:38 奉祝演奏…日本神話「古事記」、
鎮まりの一打、大田楽

18:10 天皇皇后両陛下のお出まし(石橋)

18:14 主催者式辞
…三村明夫・奉祝委員会会長

18:17 祝辞…安倍晋三・内閣総理大臣

18:20 御即位奉祝曲の演奏奉呈

18:35 国歌斉唱…独唱と参加者全員

18:38 天皇陛下のお言葉

18:42 万歳三唱
…伊吹文明・奉祝議員連盟会長

18:50 天皇皇后両陛下ご退出、閉会



第2部「祝賀式典」で4万人が皇居前広場で奉祝



第1部「奉祝まつり祝賀パレード」出演団体

(1) パレード出演団体 (18団体、約2,000名)

〔音楽隊〕

警視庁音楽隊、全日本鼓笛バンド・フォームバトン連盟、東京消防庁音楽隊カラーガーズ隊

〔郷土芸能〕

奥州江刺百鹿大群舞(岩手)、盛岡さんさ踊り(岩手)、秋田竿燈まつり(秋田)、石岡のおまつり(茨城)、東京高円寺阿波踊り(東京)、稚児舞(東京)、東金ばやし(千葉)、久喜提燈祭り提灯山車(埼玉)、しばた台輪(新潟)、輪島キリコ祭り・能登のキリコ祭り「宇出津あばれ祭り」(石川)、鳥取しゃんしゃん傘踊り(鳥取)、よさこい鳴子祭り(高知)、鹿島母ヶ浦面浮立(佐賀)、沖縄エイサー(沖縄)

(2) 奉祝神輿出演団体 (30団体、約10,000名)

日枝神社山車・神輿／神田神社山車・神輿／赤坂氷川神社山車・神輿／浅草神社神輿／大國魂神社神輿／渋谷氷川神社神輿／江東天祖神社神輿／居木神社神輿・囃子／西五反田氷川神社神輿／八丈神社神輿／ほか、萬歳会の山車・神輿・囃子・太鼓・踊りなど

第2部「祝賀式典」参加者

＊ 祝辞

安倍晋三(内閣総理大臣)

＊ 各界から祝賀メッセージ

芦田愛菜(女優)

松本白鸚(歌舞伎俳優)

御手洗富二夫(日本経済団体連合会名誉会長)

山下泰裕(日本オリンピック委員会会長)

阿部 詩(柔道女子日本代表)

瀬戸大也(競泳男子日本代表)

＊ 奉祝演奏・国歌斉唱

陸海空自衛隊合同音楽隊

鬼太鼓座

マークエステル(画家・作品協力)

大田楽(九世野村万歳・わざおぎ)

森谷真理(オペラ歌手)

＊ 奉祝曲関係

作詞…岡田恵和(脚本家)

作曲・指揮…菅野よう子(作編曲家)

ピアノ演奏…辻井伸行(ピアニスト)

歌唱…嵐(歌手)

積込み

六台の台輪は、新発田市カルチャーセンター駐車場に集合し、トレーラーに積込みました。



出発式

台輪の安全と東京での活躍を祈念し、カルチャーセンターエントランスホールで出発式を行いました。



組立て

明け方に皇居外苑に到着した台輪は、各町内の先発隊の方々によって組立てられました。



パレード出発準備

組立てが終了した各町内の台輪は、最終の準備作業を終え、本番に向けて曳き手の方々は気持ちを高ぶらせます。



いざ出陣

内堀通りの出発地点に到着した台輪は、木遣りの合図に出陣しました。勇壮にあおりながら二重橋前では、皇居に向かって、木遣りと一斉あおりを披露しました。



いざ出陣

出発した台輪は「泉町泉組」「両町」「三之町い組」「四之町し組」「上町一番組」「下町わ組」の順にあおりながら進みました。







二重橋前交差点では、六台の台輪は皇居に向かって木遣りと一斉あおりを披露しました。

いざ出陣
（二重橋交差点での一斉あおり）





解体・積込み

パレードが終了し、帰路に向けて台輪を解体し、ト
レーラーに積込み作業を行いました。



その他

台輪には、金箔で仕上げられた美しく豪華な「見送り」
があります。また、曳き手を始め多くの方々の協力も
得ながら勇壮に運行することができました。



他の出演団体

奉祝パレードには、台輪のほかに全国各地から十八
 団体が駆け付け、郷土芸能を披露しました。



秋田竿燈まつり (秋田)



東京消防庁音楽隊カラーガーズ隊



盛岡さんざ踊り (岩手)



鹿島母ヶ浦面浮立 (佐賀)



奥州江刺百鹿大群舞 (岩手)



東金ぼやし (千葉)



久喜提燈祭り提灯山車 (埼玉)



よさこい鳴子祭り (高知)

第二部 「祝賀式典」

奉祝パレード終了後、皇居前広場で天皇皇后両陛下もお出ましした祝賀式典が行われました。



事業の経緯

- * 令和元年 9月上旬 天皇陛下御即位奉祝委員会より出演依頼
 - 〃 台輪連絡協議会及び台輪所有町内へ出演確認
 - 〃 全6町内から参加報告
- * 9月13日 台輪連絡協議会役員会
- * 9月26日 台輪連絡協議会通常総会
- * 10月 2日 第1回天皇陛下御即位奉祝行事参加新発田市実行委員会開催
- * 10月 6日 現地地下見(計20名(全6町内代表、運搬業者、事務局))
- * 11月 9日 天皇陛下御即位をお祝いする国民祭典第1部奉祝まつり「奉祝パレード」参加
- * 12月23日 第2回天皇陛下御即位奉祝行事参加新発田市実行委員会開催

参加行程表

- * 11月8日(金) 7:00頃～ 全6町内台輪カルチャーセンター到着
 - 8:00頃 台輪トレーラー積込作業開始
 - 16:00頃 台輪トレーラー積込作業終了
 - 20:00 出発式(カルチャーセンターエントランスホール)
 - 20:30～ 台輪トレーラーカルチャーセンター出発(6台)
 - 22:45 先発隊集合(中央町交差点:上町、両町、泉町、下町わ組会館前:下町、三之町、四之町)
 - 23:00 先発隊出発(大型バス2台)
- * 11月9日(土) 4:30 本隊(後発隊)集合(中央町交差点:上町、両町、泉町、下町わ組会館前:下町、三之町、四之町)
 - 4:30 先発隊皇居前到着
 - 4:45 台輪運搬トレーラー皇居前到着
 - 5:00 本隊(後発隊)出発(大型バス8台)
 - 7:00頃～ 台輪積降開始、組立
 - 10:00 台輪組立終了
 - 13:00 各台輪集合写真撮影
 - 13:30 パレード待機場所スタンバイ
 - 14:13 6台輪パレード開始
 - 14:30頃 二重橋交差点一斉あおり
 - 14:45 パレード終了
 - 15:30頃 台輪解体作業開始
 - 16:45頃 台輪積込作業開始
 - 17:00頃 本隊(後発隊)皇居前出発
 - 19:40頃 先発隊皇居前出発
 - 22:00頃 台輪運搬トレーラー皇居前出発
 - 23:30～ 本隊(後発隊)新発田到着・解散
- * 11月10日(日) 2:00頃 先発隊新発田到着・解散
 - 4:00頃～ 台輪運搬トレーラーカルチャーセンター到着
 - 7:00頃～ 台輪積降し作業開始
 - 7:30頃～ 台輪引渡し各町内へ
 - 11:00 台輪積降し作業終了、台輪引渡し終了

✿ 天皇陛下御即位奉祝行事参加新発田市実行委員会名簿

【会 長】	二階堂 馨	新発田市長
【副 会 長】	比 企 広 正	新発田市議会議長
【実行委員長】	佐 藤 哲 也	新発田商工会議所会頭
【副実行委員長】	渡 邊 喜 夫	新発田市議会副議長
	齋 藤 松 郎	北越後農業協同組合経営管理委員会会長
	片 桐 隆	新発田市自治会連合会会長
	大 野 昌 昭	(一社) 新発田市観光協会理事長
	佐久間 大輔	台輪連絡協議会会長(四之町)
	下 妻 勇	新発田市副市長
【実行委員】	水 野 善 栄	新発田市議会経済建設常任委員長
	小 竹 英 之	月岡温泉観光協会会長
	野 口 政 男	豊浦商工会長
	小 林 豊 男	紫雲寺商工会長
	菅 幸 一	加治川商工会長
	荻 野 秀 介	新発田市商店会連絡協議会会長
	石 井 修	新潟県下越トラック事業協同組合理事長
	宮 澤 大 樹	(一社) 新発田青年会議所理事長
	工藤 ひとし	新発田市教育長
【実行委員(幹事)】	武田 貴水明	台輪連絡協議会副会長(上町)
	酒 井 格	台輪連絡協議会幹事(下町)
	五十嵐 浩	台輪連絡協議会幹事(泉町)
	池 田 昌 祥	台輪連絡協議会監事(両町)
	渡 辺 克 美	台輪連絡協議会監事(三之町)
	清田 稻盛樹	新発田市産業戦略監
【監 事】	高 澤 健 爾	新発田商工会議所専務理事
	星 野 芳 郎	新発田市会計管理者

✿ ご協賛団体(敬称略、順不同)

新発田商工会議所
豊浦商工会
紫雲寺商工会
加治川商工会
JA北越後農業協同組合
新発田市自治会連合会
(一社) 新発田市観光協会
月岡温泉観光協会
新潟県下越トラック事業協同組合
(一社) 新発田青年会議所



天皇陛下御即位をお祝いする国民祭典
しばた台輪参加記念誌

令和2年3月発行

編集・発行 天皇陛下御即位奉祝行事参加新発田市実行委員会
新発田市諏訪町1丁目2番11号イクネスしばたMINTO館
(新発田市観光振興課内)

印刷 昭栄印刷 株式会社 新発田市住田97番地